



2024年6月14日

各位

会社名 株式会社 ケア 2 1  
代表者名 代表取締役社長 依田 雅  
(コード: 2373 東証スタンダード)  
問合せ先 財務経理部長 山田 耕嗣  
(TEL. 06-6456-5697)

### 2024年10月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2023年12月8日に公表いたしました2024年10月期通期業績予想の修正を決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2024年10月期通期連結業績予想の修正 (2023年11月1日~2024年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 44,000	百万円 150	百万円 300	百万円 150	円 銭 11.13
今回修正予想 (B)	45,000	△600	△350	△550	△40.77
増減額 (B-A)	1,000	△750	△650	△700	
増減率 (%)	2.3	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2023年10月期)	41,098	△401	197	6	0.46

#### 2. 2024年10月期通期個別業績予想の修正 (2023年11月1日~2024年10月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 41,000	百万円 200	百万円 100	円 銭 7.42
今回修正予想 (B)	42,000	△100	△250	△18.53
増減額 (B-A)	1,000	△300	△350	
増減率 (%)	2.4	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2023年10月期)	38,495	157	△18	△1.38

### 3. 修正の理由

売上高については、第2四半期連結累計期間において、すべてのセグメントで利用者の獲得が良好に推移し、当初予想を上回る結果となりました。

第3四半期以降も良好に推移すると予想しており、当初予想を上回る見込となりましたので、増額を行いました。

一方、営業利益、経常利益については、前期より増加が始まったサービス提供体制の維持に要するコストや人員確保にかかるコストは、現在も増加し続けており、業績改善に向けた大きな足かせの1つとなっております。

前々期より、新規拠点の開設ペースを上げた上で、これらのコストを吸収に尽力してまいりましたが、開設ペースを上げたことによる先行投資コストも物価高による影響を受け、開設前計画を上回る状況が継続しております。

当社の新規拠点の開設は每期上半期に集中することも相まって、第2四半期連結累計期間の業績に関しては本日公表した通りとなっておりますが、売上高の良好な推移と、前期より続けておりますコスト削減策に加え、インフラコストの見直し、通信コストの見直し等を主とした追加的なコスト削減の効果が徐々に始まり、月ごとの赤字幅は減少を続けており、増加したコストの吸収にも一定の目処がついております。

これらの結果、営業利益ベースで前期の下半期実績を上回る見込であり、ようやく現在の当社を取り巻く環境における本格的な業績の回復の目処が立って参りました。

しかしながら、上半期における赤字幅を解消し、通期における当初予想を達成できるほどの利益獲得は困難と判断いたしました。

以上により、通期業績予想について、上記1.2.のとおり修正いたします。

※上記の業績予想については、現時点で入手可能な情報をもとに作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

以 上